

直売所向け花きの栽培技術

ルリタマアザミの栽培

長く伸びた茎の先端に手毬のような球状の花が咲くユニークな草姿のルリタマアザミ。属名のエキノプスは「ハリネズミに似る」という意味のギリシャ語に由来しています。冷感のある爽やかな花色と力強い姿には存在感があり、夏の切り花やドライフラワーとしても利用されています。



特徴

エキノプス属は、地中海沿岸から西アジアを中心に分布する二年草もしくは多年草です。

日当たりの良い場所を好み、一日中日の当たる風通しのよい場所が栽培に適しています。

耐寒性には優れていますが、夏の高温多湿には弱く根腐れ

を起こすことがあるので、水はけのよい土をつくるのが大切です。

また、酸性の土を嫌い中性～アルカリ性 (pH7～7.5) の土を好

みます。

栽培する場所と土づくりがうまく育てるためのポイントです。

育て方

植え付けの適期は4～6月か10～11月頃です。タネからでも育てられますが、まいてから2～3年後に花が咲くので、じっくり育てたい方にはおすすめです。

露地栽培が一般的で、1条植えの場合株間30cm、2条植えでは株間50～60cmの千鳥植えにします。

植え付け1年目は株の養成で、2年目以降に切り花が可能になります。

肥料は有機質肥料や緩効性の肥料を中心に、3月下旬頃と7月下旬頃に与えます。一般草花の半分くらいの量が目安です。

収穫

採花時期は6月下旬頃～9月上旬頃までで、つぼみが色づき花首が硬くなったら収穫します。切り遅れると色あせするので適期収穫を心掛けましょう。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
タネまき					▲	▲			○			
植えつけ					▲	▲						
開花							■	■				
施肥			■		■	■			■			